立命館大学大学院
2022年度実施　入学試験
博士課程前期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	11月	P.1～	社会人入試、 外国人留学生入試と共通
	2月	P.4～	社会人入試、 外国人留学生入試と共通
社会人入学試験	11月	P.1～	一般入試、 外国人留学生入試と共通
	2月	P.4～	一般入試、 外国人留学生入試と共通
外国人留学生入学試験	11月	P.1～	一般入試、 社会人入試と共通
	2月	P.4～	一般入試、 社会人入試と共通
学内進学入学試験	7月		
	11月		
学内進学入学試験 （学部早期卒業希望者対象）	7月		
	11月		

【表紙の見方】
×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験（筆記試験）を実施しないもの

立命館大学大学院
2022年度実施　入学試験
博士課程後期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

受験番号	

2023年度　立命館大学大学院
スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験　論述
（基礎問題・専門問題）

試　験　時　間
11:00　～　12:00　（60分）

2022年11月12日（土）

≪注意事項≫

1. 配布された全ての用紙の所定欄に受験番号ならびに氏名を記入すること。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。
3. 基礎問題、専門問題ともに解答すること。
4. 答案用紙は、計2枚。
5. 試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

受験番号	

基礎問題

以下の図は、「令和元年国民健康・栄養調査報告」より、肥満の状況を示したものである。<計 60 点>

(1) この結果に関して、特徴や傾向を 300 字程度で説明しなさい。<40 点>

(2) (1) で説明した内容をふまえ、肥満者の減少に有効と考えられる方策を 200 字程度で述べなさい。<20 点>

図 18－1 肥満者(BMI≧25 kg/m²)の割合の年次推移(20 歳以上)(平成 21～令和元年)

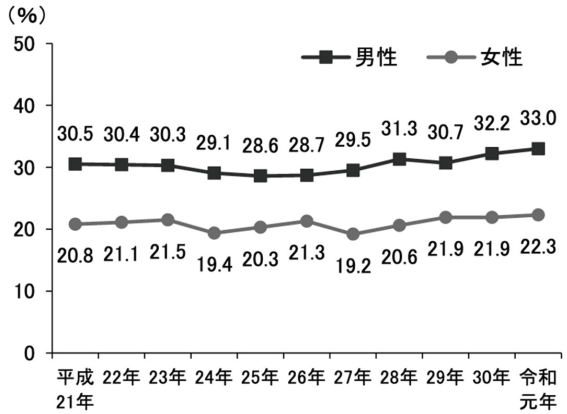


図 18－2 年齢調整した、肥満者(BMI≧25 kg/m²)の割合の年次推移(20 歳以上)(平成 21～令和元年)

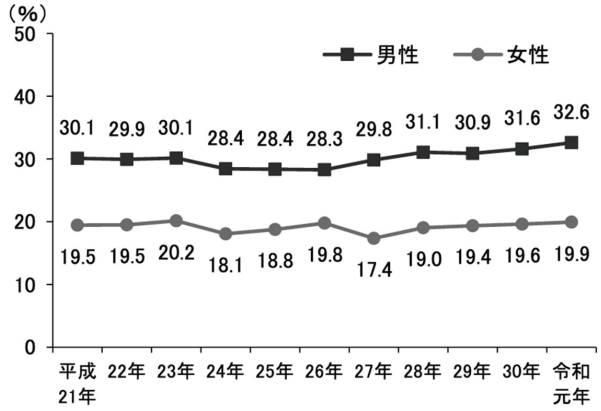
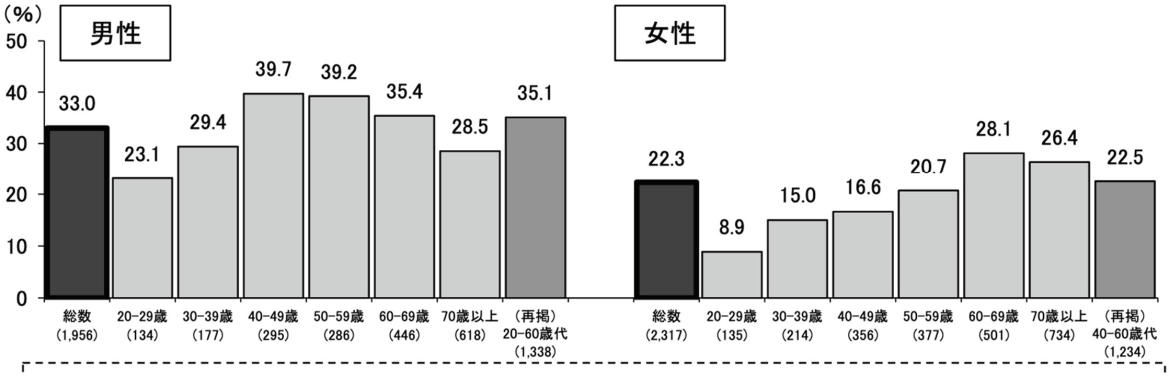


図 19 肥満者(BMI≧25 kg/m²)の割合(20 歳以上、性・年齢階級別)



出典「令和元年国民健康・栄養調査報告」(厚生労働省), p.47
https://www.mhlw.go.jp/content/000710991.pdf
(閲覧日 2022 年 11 月 7 日)

受験番号	

専門問題

次の（1）～（4）の問題のうち1問を選択し、答案用紙に500字以内で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号に必ず〇をしなさい。<計40点>

（1）スポーツ健康科学

運動時の骨格筋におけるエネルギー供給機構について、3つの供給系を説明するとともに、運動強度や運動時間との関連について述べよ。

（2）生涯スポーツ論

社会化について説明しなさい。また「スポーツへの社会化」と「スポーツによる社会化」についても具体例を挙げながら、説明しなさい。その際、2つのスポーツの社会化については、「重要なる他者」と「社会化状況（社会文化的力）」のいずれかの要因を踏まえて、説明しなさい。

（3）基礎機能解剖論

球関節、蝶番関節、車軸関節とは、それぞれどの様な関節か説明しなさい。また、日常生活やスポーツの中でこれらの関節の運動が顕著に見られる例をそれぞれ挙げなさい。

（4）コーチング論

学習者や競技者のパフォーマンス発揮に必要な「自信」について、以下の観点から論述しなさい。

1．「自信」に関する理論を1つ用いて、「自信」を構成している心理的要素について説明しなさい。
2．上記1を踏まえ、学習者や競技者の「自信」を向上させるために効果的な指導法について説明しなさい。

以　上

受験番号	

2023年度　立命館大学大学院
スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験　論述
（基礎問題・専門問題）

試　験　時　間
11:00　～　12:00　（60分）

2023年2月5日（日）

≪注意事項≫

１.配布された全ての用紙の所定欄に受験番号ならびに氏名を記入すること。

２.解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。

３.基礎問題、専門問題ともに解答すること。

４.答案用紙は、計2枚。

５.試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

受験番号	

基礎問題

以下の図表は、我が国の国民のスポーツ実施率に関する状況を示したものである。

（1）これらの結果に関して、特徴や傾向を300字程度で説明しなさい。＜40点＞

（2）我が国の国民のスポーツ実施率を向上させると考えられる施策について、（1）の記述を踏まえて200字程度で述べなさい。＜20点＞

＜計60点＞

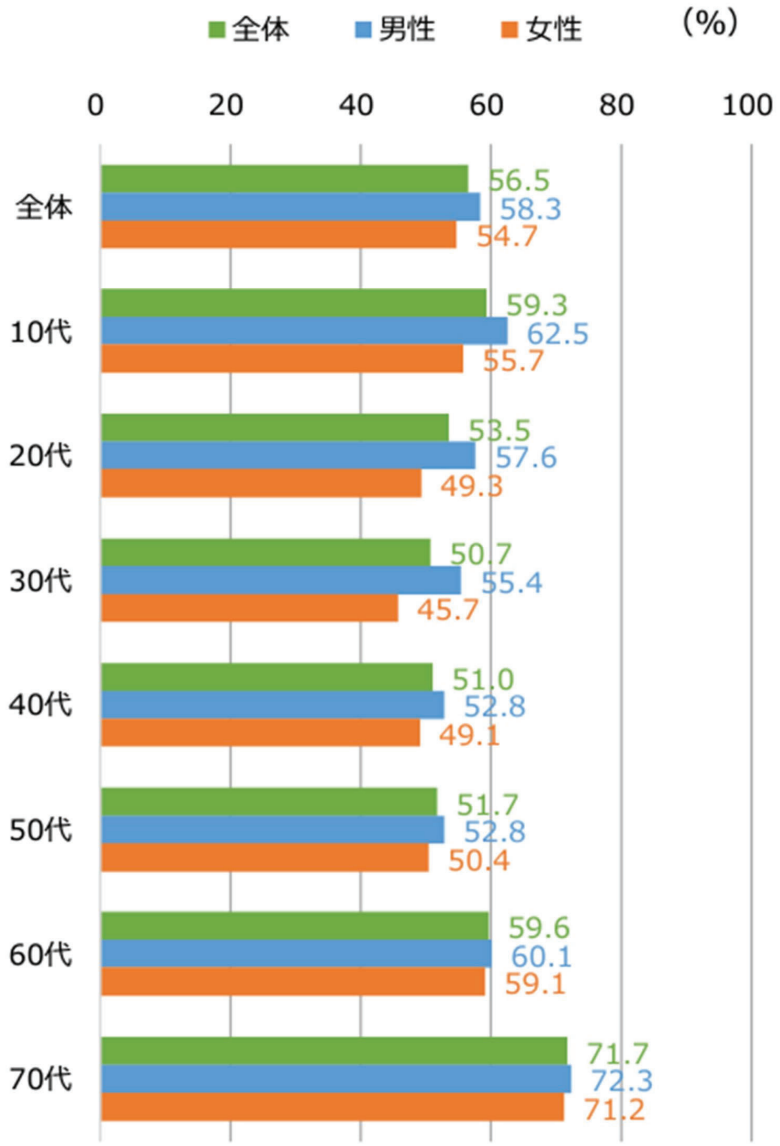


図1　週1日以上スポーツ実施率（令和3年度（2021年度））

出典：【別紙】令和3年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の概要（スポーツ庁）p.2（https://www.mext.go.jp/sports/content/20220222-spt_kensport01-000020451_1.pdf）（アクセス日：2022年9月27日）

n=20,000　　(%)

	全体		男性		女性	
	令和3年度（2021年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和2年度（2020年度）
全年代平均	56.5	60.0	58.3	61.4	54.7	58.7
10代	59.3	64.1	62.5	65.1	55.7	63.0
20代	53.5	58.3	57.6	61.3	49.3	55.1
30代	50.7	55.1	55.4	59.0	45.7	51.0
40代	51.0	52.8	52.8	53.7	49.1	51.9
50代	51.7	54.2	52.8	55.3	50.4	53.1
60代	59.6	65.1	60.1	65.3	59.1	65.0
70代	71.7	74.8	72.3	76.3	71.2	73.6

表１　週１日以上スポーツ実施率（令和３年度（2021 年度）及び令和２年度（2020 年度））

出典：【別紙】令和３年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の概要（スポーツ庁）p.2 一部改変（https://www.mext.go.jp/sports/content/20220222-spt_kensport01-000020451_1.pdf）（アクセス日：2022 年 9 月 27 日）

専門問題

受験番号	

次の（1）～（4）の問題のうち1問を選択し、答案用紙に500字以内で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号に必ず〇をしなさい。<計40点>

（1）スポーツ健康科学

フレイルとサルコペニアの定義ならびにそれらの関連性について論述しなさい。

（2）生涯スポーツ論

文部科学大臣により令和4年3月25日に策定された「第3期スポーツ基本計画」について、今後5年間で国が取り組むべき施策や目標等が示されたが、第3期において新たに、①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる、そして③スポーツに「誰もがアクセス」できるという3つの視点が挙げられた。このうち、③スポーツに「誰もがアクセス」できるについて、これを実現させるための具体的施策、及びそれが有効であると考えられる理由について併せて論述しなさい。

（3）基礎機能解剖論

筋の分類について、下記の用語の定義と具体的な筋の例示を踏まえながら論述しなさい。ただし、筋の例示はそれぞれの分類について１つずつで良いが、できるだけ同じ筋は用いないように工夫すること。

随意筋、不随意筋、横紋筋、平滑筋、骨格筋、体幹筋、体肢筋

（4）コーチング論

スポーツが安全で、正しく、楽しく行われるために、指導者に必要となる姿勢や考え方にはどのようなものがあるか、具体的に５つ挙げて、論述しなさい。

以　上